

7/6(土)まど！倫理会です。蒸し暑い日が続きます。それにコロナの新規
感染者数を恐々として日々送り込まれ、企業も同じ挑戦を止めません。

今週の

倫理

7月のテーマ | 易不易の倫理

幸せ運ぶアホ鳥

2022.7.16~7.22

1290号

世の中には、時代に応じて変わるもの、
変えなければならぬものがあります。
一方で、いついかなる時でも変わらないもの、
の、変えはならないものがあります。
このことを「易不易の原理」といいます。

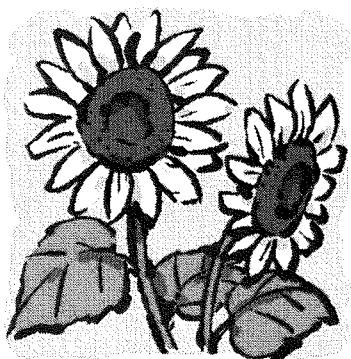
「易」とは変わるという意味です。

経営においても、何が会社にとつて変え
るべきこと（易）であり、何を変えてはな
らないこと（不易）なのかをしっかりと見
定めなければなりません。

「不燃ボード」を主力商品とする住宅内
装材を製造するY社長は、同原理を経営に
活かすことにより、危機を乗り越えました。
父親が経営する会社に入社したY社長は、
当初、営業部門に籍を置きました。ある日、
お客様から「まだ、こんな物を売っている
のか」と辛らつな言葉を浴びせられ、ショ
ックを受けました。当時の主力商品は、市
場に流通している物ばかりで、目新しさは
なく、他社との差別化を図ることができ
ていなかつたのです。

お客様の言葉に「新しい物を創り出さな
ければ生き残ってはいけない」と奮い立つ
たY社長は、社の命運をかけて、新製品開
発のため資金と人材を投入したのです。
しかし一方で、Y社長は、新製品を開発
する上で、決して譲れないこだわりを明確
に定めたといいます。

それは「自分たちの仕事は安全かつ快適
な空間を提供すること。家が安全であるこ
とは人が住むにあたり何より大切であり、
長い年月、そこで過ごすなら快適さも求め



会社の拠り所を知り 幾多の難局を乗り切る

られるということ。その両者を併せ持つた
製品を提供するのが私たちの使命である」と
いう、先代から受け継がれてきた創業の
精神です。

この創業の精神は自社の土台であるから、
断固として変えない。しかし、商品を開発
するにあたっては、大胆に新しいことへも
挑戦する。そのように、Y社長自らが陣頭
指揮を取り、新商品の開発に着手しました。
結果、厚さ三ミリという当時もつとも極
薄の不燃板の開発に成功したのです。顧客
ニーズに見事に応えた新商品の誕生でした。
「何のためにわが社はあるのか」という根
本的な問いは、会社にとつての拠り所であ
り、屋台骨となります。そしてそれは、目
的や企業理念、社是社訓に表れます。

目的地を定めずして、経路は決まりませ
ん。また、目的地を見失えば、道を間違え
かねません。経営においても、目的を社員
と共に、方向性を社員に明確に示すことで、社内は一体感を増し、チーム
としての力が發揮されるのです。

この度のY社長の体験も、変えてはなら
ないものを明確にしたプレーンな姿勢と、変
えるべきは、恐れず大胆に変える姿勢が、
その成功の要因だったと言えるでしょう。

会社経営は時代の変化興亡にさらされ、
常に予期せぬ不況に見舞われる危険性をは
らんでいます。その時々の社会の求めに対
して、改善・開発を加えながらも、会社に
とつて、決して変えてはいけないものは何
なのかを常に問い合わせていきたいものです。